



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社角川グループホールディングス
コード番号 9477 URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 辰男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括マネジャー (氏名) 高山 康明

TEL 03-3238-8561

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	107,551	3.0	5,525	2.6	5,926	△1.0	3,503	—
23年3月期第3四半期	104,401	5.4	5,383	87.3	5,987	91.8	12	△77.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,719百万円 (534.0%) 23年3月期第3四半期 428百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	136.38	120.32
23年3月期第3四半期	0.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	131,613	76,789	57.7
23年3月期	121,951	73,150	59.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 75,993百万円 23年3月期 72,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	1.4	8,500	9.1	8,800	2.7	6,500	2.1	258.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	27,260,800 株	23年3月期	27,260,800 株
24年3月期3Q	1,377,438 株	23年3月期	2,107,214 株
24年3月期3Q	25,689,677 株	23年3月期3Q	25,219,010 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた動きに加え、国内の経済活動は回復基調にあります。一方で歴史的な円高水準の長期化や株価の低迷、欧州財政危機の深刻化など不安要因を抱えた状況は依然として続いております。

こうした環境下、当社グループは、主に出版事業から生み出される高付加価値コンテンツを多メディア展開することにより、出版事業の成長はもとより、映像関連事業、ネット・デジタル関連事業、海外関連事業の拡充を図っております。特に飛躍的な成長が期待される電子書籍においては、独自の配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」を中心に、デジタルコンテンツの充実と拡販を進めております。さらに市場の急激な変動に対応するため抜本的な構造改革を断行し収益力の向上に取り組んでおります。

書籍関連においては、ライトノベルやコミックスが好調に推移し、また、文芸書、実用書でも継続的にヒット作品を生み出しております。

一方、雑誌・広告関連においては、東日本大震災以降続く市場環境の悪化が好転せず、販売、広告収入ともに厳しい状況が続いております。

映像関連においては、Blu-ray市場の伸張もありアニメ作品を中心にパッケージビジネスは順調に推移しましたが、シネコン事業においては震災以降、観客動員が伸びず厳しい状況が続いております。

ネット・デジタル関連においては、ゲームソフト、eコマース事業が順調に推移し、電子書籍については「BOOK☆WALKER」をニコニコ動画やGREEと連携させ、人気タイトルや新レーベルの投入などでユーザー数と販売数を伸ばしております。

海外関連においては、台湾、香港での現地法人による事業は順調に推移し、中国での出版事業も着実にその実績を重ね、平成22年10月の刊行開始以降、総刊行点数は100点を超えました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,075億51百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益55億25百万円（同2.6%増）、経常利益59億26百万円（同1.0%減）、四半期純利益35億3百万円（前年同期は四半期純利益12百万円）となりました。

なお、セグメント情報との関連は、単一セグメントであるため記載を省略しております。

各ジャンルにおける売上貢献作品は次のとおりであります。

(単行本)

「ジェノサイド」高野和明（角川書店）

「9割がバイトでも最高の感動が生まれるディズニーのホスピタリティー」福島文二郎（中経出版）

「世界一かんたん定番年賀状 2012」（アスキー・メディアワークス）

(文庫)

「ビブリア古書堂の事件手帖」三上 延（アスキー・メディアワークス）

「心霊探偵八雲」神永 学（角川書店）

(ライトノベル)

「新約とある魔術の禁書目録」鎌池和馬（アスキー・メディアワークス）

「バカとテストと召喚獣」井上堅二（エンターブレイン）

(コミックス)

「テルマエ・ロマエ」ヤマザキマリ（エンターブレイン）

「よつぱと!」あずま きよひこ、「とある科学の超電磁砲」鎌池和馬 冬川基（アスキー・メディアワークス）

(DVD、Blu-ray)

「漫オギャング」（角川書店）

「Steins;Gate」（角川書店、メディアファクトリー）

(ゲーム)

DS「メタルマックス2」（エンターブレイン）

PSP「とある科学の超電磁砲」（アスキー・メディアワークス）

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前期末に比べて96億62百万円増加し、1,316億13百万円となりました。メディアファクトリーの株式取得や四半期末日の銀行休業等により現金及び預金が減少したものの、同社の新規連結により受取手形及び売掛金、たな卸資産等の営業資産が顕著に増加し、有価証券、投資有価証券及び有形固定資産も取得により増加しました。

負債は、前期末に比べて60億23百万円増加し、548億24百万円となりました。同社の新規連結により支払手形及び買掛金等の営業負債が顕著に増加し、借入により短期借入金も増加しました。

純資産は、前期末に比べて36億38百万円増加し、767億89百万円となりました。四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方、第三者割当による処分により自己株式が減少しましたが、いずれも株主資本の増加要因となりました。

自己資本比率は、前期末に比べて1.7ポイント下がり、57.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期に買収したメディアファクトリーも加わり、ライトノベル、コミックスのメディアミックス作品を中心とした書籍販売を始め、映像パッケージソフト、SNS向けゲームソフト等の販売を伸ばしてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、平成23年4月28日に公表した業績予想からの修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,174	12,700
受取手形及び売掛金	32,852	45,895
有価証券	—	603
たな卸資産	12,473	15,409
繰延税金資産	3,884	4,022
その他	2,708	3,639
貸倒引当金	△151	△132
流動資産合計	77,942	82,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,227	8,436
工具、器具及び備品（純額）	1,308	1,775
土地	10,530	10,530
その他（純額）	1,814	714
有形固定資産合計	19,880	21,457
無形固定資産		
のれん	671	954
その他	1,796	2,030
無形固定資産合計	2,468	2,985
投資その他の資産		
投資有価証券	11,678	13,660
繰延税金資産	2,238	1,857
その他	8,073	9,773
貸倒引当金	△331	△258
投資その他の資産合計	21,659	25,033
固定資産合計	44,008	49,476
資産合計	121,951	131,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,202	20,396
短期借入金	573	3,179
未払法人税等	1,755	902
賞与引当金	1,356	755
返品調整引当金	3,526	4,225
その他	9,179	9,410
流動負債合計	33,593	38,870
固定負債		
新株予約権付社債	11,000	11,000
長期借入金	33	184
繰延税金負債	353	319
退職給付引当金	2,200	2,748
その他	1,619	1,700
固定負債合計	15,206	15,953
負債合計	48,800	54,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,330	26,330
資本剰余金	27,704	27,375
利益剰余金	27,907	30,523
自己株式	△6,014	△3,932
株主資本合計	75,928	80,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△686	△905
土地再評価差額金	△256	△256
為替換算調整勘定	△2,505	△3,140
その他の包括利益累計額合計	△3,449	△4,303
少数株主持分	671	796
純資産合計	73,150	76,789
負債純資産合計	121,951	131,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	104,401	107,551
売上原価	77,196	79,191
売上総利益	27,204	28,359
返品調整引当金戻入額	3,806	3,906
返品調整引当金繰入額	3,726	4,225
差引売上総利益	27,284	28,039
販売費及び一般管理費	21,900	22,513
営業利益	5,383	5,525
営業外収益		
受取利息	59	36
受取配当金	180	169
負ののれん償却額	64	61
持分法による投資利益	12	—
複合金融商品評価益	209	—
受取保険金	6	48
古紙売却益	123	124
その他	83	115
営業外収益合計	740	555
営業外費用		
支払利息	118	109
持分法による投資損失	—	33
その他	17	11
営業外費用合計	136	154
経常利益	5,987	5,926
特別利益		
固定資産売却益	3	5
投資有価証券売却益	0	—
関係会社株式売却益	339	—
会員権売却益	2	—
退職給付制度改定益	—	19
災害損失引当金戻入額	—	306
特別利益合計	345	330
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	90	178
減損損失	12	—
投資有価証券評価損	2,325	872
出資金評価損	—	8
会員権評価損	18	14
特別退職金	131	45
退職給付制度改定損	55	—
賃貸借契約解約損	44	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	408	—
特別損失合計	3,087	1,120
税金等調整前四半期純利益	3,246	5,137

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
法人税等	3,134	1,530
少数株主損益調整前四半期純利益	111	3,607
少数株主利益	99	103
四半期純利益	12	3,503

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	111	3,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,448	△219
為替換算調整勘定	△1,092	△637
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△31
その他の包括利益合計	317	△887
四半期包括利益	428	2,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373	2,649
少数株主に係る四半期包括利益	55	69

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、出版物、映像等のコンテンツの開発、制作、仕入、販売及びその付帯業務を主な事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月26日開催の当社取締役会決議に基づき、同年6月13日付で株式会社ダウンゴを割当先とする自己株式処分を実施いたしました。この結果、前期末に比べて自己株式が2,082百万円、資本剰余金が329百万円、利益剰余金が36百万円それぞれ減少し、株主資本が1,716百万円増加しております。